

令和3年度（2021年度）

第45回神奈川県アンサンブルコンテスト予選

第22回相模原アンサンブルコンテスト

実施要項



※今年度は無観客での開催

<実施日時>

令和3年11月6日（土） 11:00開演

令和3年11月7日（日） 10:30開演

<部門>

高等学校の部

中学校の部

<会場>

杜のホールはしもと

（JR橋本駅北口を出て右側「ミウヰ橋本」7・8階）

主催 相模原吹奏楽連盟・朝日新聞社
共催 (公財)相模原市民文化財団

〔〇〕 感染症対策

- (1) 大会の実施方法の変更
会場内およびその周辺での人々の密集を避けるため、今大会は無観客での開催とする。
また、高校生が補助役員を行わない形で、教職員等の役員のみで大会を運営する。
- (2) 健康観察の徹底
全参加者は、大会2週間前から毎朝検温を行い、その結果を「健康観察票」に記入すること。
各団体の顧問は、その健康観察票を大会当日の朝に集約し、「団体受付票」の該当欄にチェックを入れて、団体受付の際に提出すること。
なお、健康観察票は提出しないが、参加者に新型コロナ感染者が出たり、クラスターが発生したりする場合には、後日吹奏楽連盟に提出をする可能性もあるため、大会終了から4週間は顧問が保管し、その後は各団体が適切に廃棄をすること。
- (3) マスクの着用
原則として、常時マスクを着用すること。ただし、楽器演奏時には一時的にマスクを外してもよい。
その際、周囲との適切な距離を保つことと、外したマスクの取り扱いには十分注意すること。
- (4) 楽器の水処理について
水抜き用のバケツ等を共用することは感染リスクが高いため、会場では用意しない。
そのため、各自で給水シートを用意するなど、安全に楽器の水処理が行えるように準備すること。
(舞台上に直で垂らすことは厳禁)
- (5) 飲食について
会場内には食事場所は設置しない。水分補給については、周囲への十分な配慮のもと適切に行うこと。
また、ごみは必ず持ち帰ること。
- (6) 会場内での行動
「なるべく会話は控える」、「大声を出さない（挨拶も注意）」、「ソーシャルディスタンスの確保」など、常に感染症対策を意識した行動を心掛けること。

〔1〕 受付

- (1) 出演団体受付（8階 多目的室入口）
出演者及び搬入補助員の全員が前って、顧問と一緒に受付を行う。（顧問は最初のチームのみでもよい）

<p><提出するもの></p> <ul style="list-style-type: none">・ 団体受付票・ ステージ配置図（2部） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・ 検温の実施・ 出演者の出欠確認・ 誘導開始時刻や搬入時刻の再確認 <p><注意事項></p> <ul style="list-style-type: none">※ 進行表に記載の受付締切時刻を確認すること。※ 入口付近に生徒が集まったり、楽器や荷物を置いたりしないこと。（通路をあける）	<p><受け取るもの></p> <ul style="list-style-type: none">・ プログラム（人数分）・ 賞状（結果が空欄のもの）
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------
- (2) 一般受付
今大会は無観客開催のため、一般入場受付を設置しない。

[2] 楽器搬入と搬出

(1) 楽器の搬入について

ア 普通自動車で楽器を運搬する場合

<流れ>

- ① 隣接する市営駐車場（有料）で楽器を降ろして施設に入り、
- ② 8階の団体受付を通り「楽器ケース置場」へ運ぶ。

<注意>

- ※会場周辺道路での駐停車は、禁止する。（送り迎えを含めて禁止）
- ※大型の打楽器を使用する場合には、必ず搬入口から搬入を行うこと。
（管楽器奏者と一緒に移動しない打楽器は、すべて搬入口使用）

イ 打楽器をトラック等で運搬する場合

<事前申請>

搬入口を利用して打楽器を搬入する出演団体は、別紙の「打楽器搬入口利用申請」専用FAXフォームに必要事項を記入し、下記番号へ11月2日（火）までに送信すること。
利用可能台数は、車種問わず各校原則1台です。

FAX番号 042-753-6348 県立相模原高校 安西雄紀 宛

<搬入員の流れ>

- ① 搬入員は「搬入時刻」の15分前になったら、8階団体受付に集合し、係の誘導で1階の搬入口へ移動する。（直接外から行くと大変危険）
- ② 搬入時刻になったらトラック等から楽器を降ろし、
- ③ ミウヰ橋本の業務用エレベーターで7階に上がり、
- ④ ホール舞台裏にある「打楽器置場」へ運ぶ。

<注意>

- ※搬入時刻は進行表を確認すること。また、待機場所は係の指示に従うこと。
- ※打楽器搬入補助員は各チーム10名までとする。（10名 + 打楽器奏者）

<トラック等の流れ>

- ① 搬入時刻に来て楽器を降ろす。
- ② 外に出てどこかで待機（近くにトラックを駐車できる場所は無い）
- ③ 搬出時刻に再び来て楽器を積んで、すぐ外に出る。

- ※ ②について、運転手と事前に確認をしておくこと。
- ※ 「打楽器運搬車証」を運搬車の分かりやすい場所に掲示すること。

(2) 楽器ケース置場

8階多目的室（団体受付場所のすぐ奥）を、出演中の団体の楽器ケース置場とする。

※貴重品の管理は、各団体で責任をもって行うこと。

（楽器や貴重品の紛失、破損等のトラブルがあった場合、吹奏楽連盟は一切の責任を負わない。）

(3) 楽器の搬出について（基本的には搬入の逆の流れ）

<流れ> 搬入口使用の打楽器の場合

- ① 演奏終了後「打楽器置場」でできる片づけを行い、搬出時刻の10分前まで静かに待機する。（または係の指示で一旦解散）
- ② 搬出時刻の10分前を目安に（係の合図で）エレベーターで1階に下ろし、ホール搬出口からトラックに積み込む。

※状況により、異なる動きをする可能性もあるため、係の指示によく従うこと。

[3] 誘導 (チューニング室を使用するメンバー用、打楽器は別)

- (1) 出演者の誘導について
例年は補助役員の高校生が常に付き添って誘導しているが、今大会は高校生が運営に携われないため、**出演者が自分たちだけで移動**できるように、事前に経路の確認をしておくこと。
- (2) 誘導開始まで
楽器ケース置場にて、楽器をケースから出して組み立てるなどの準備を行う。
誘導開始時刻の5分前には「誘導開始場所」へ移動し、整列して待機しておくこと。
誘導開始時刻になったら係員の説明を受け、移動を開始する。
- (3) 誘導経路 **※誘導経路図とあわせて確認を(この要項の6~7ページ)**
 - ① 誘導開始場所
係員の指示で出発。通路を1列で歩いて進み、決められたチューニング室へ向かう。
 - ② チューニング室 (A・B・C・D)
音出し時間は25分間、**係員による開始と終了の合図**に従うこと。
終了して部屋を出たら、階段へ向かう。
 - ③ 階段を下りる
 - ④ 舞台袖に入る (舞台裏、上手側)
前の団体が演奏中のため、静かに待機。
(本番前後の流れについては次の [4]演奏 を参照)
 - ⑤ 演奏終了後 (落ち着いて! 静かに移動する)
下手側舞台袖を右に出て、通路を1列で歩いて進み階段へ
 - ⑥ 階段を上がる
 - ⑦ 左に出て、楽器ケース置場へ向かう
- (4) 片付け
楽器ケース置場に戻り次第、楽器や荷物の片付けを行い、**速やかに退出**する。
※ミーティング等を行うことは禁止、会話も最小限にとどめること。

[4] 演奏

- (1) 演奏前
上手側 (客席から見て右側) の舞台袖に待機する。(※打楽器は逆側の可能性もあり)
譜面台の高さ調整や、扱い方についての確認を、係員から受ける。
舞台上の譜面台や椅子の数が整ったら、係員の合図で入場する。
- (2) 舞台上での流れ
 - ① セッティングの微調整 (短時間で)
 - ② 《マスクを外す》
 - ③ 正面 (客席) を向いて起立
 - ④ アナウンスが入る (プログラム 番、__ 学校、__ 重奏、__ 作曲、曲名)
 - ⑤ 一礼をしてから、演奏開始
 - ⑥ 演奏終了後、正面を向いて一礼をする
 - ⑦ すぐに《マスクを着用》して
 - ⑧ 下手側に退場する (舞台から客席を見て右側へ) ※打楽器は逆側の可能性もあり

※ 外したマスクを譜面台や椅子などの共用物品にそのまま置かないように注意

- (3) その他
※ ピアノ椅子は会館に3脚用意があり、それ以上必要な場合は持参すること。
※ 打楽器の待機場所や入退場の向き (上手側・下手側) は、別途係員の指示に従うこと。
(舞台袖のスペースの問題により、団体によって変更する場合がある)

[5] 会場内での鑑賞

今大会は無観客開催のため、省略

[6] 審査および表彰

(1) 審査員

織茂 学	(ピアノ・作曲)	
高久 進	(フルート)	
長谷川 博亮	(トロンボーン)	《1日目のみ》
深石 宗太郎	(ユーフォニアム)	《2日目のみ》
前田 啓太	(打楽器)	
三浦 幸二	(クラリネット)	<敬称略・50音順>

※この実施要項が公開された日から大会終了まで、審査員から指導を受けることや、事前に連絡等を行うことを禁止する。また、審査の結果等について、異議申し立てを行うことも禁止する。

(2) 審査方法

各審査員が「技術」「表現」の観点から10段階で評価する。その評価を審査集計係が徹密に処理を行う。賞は、審査員の合意によって決定され、金賞・銀賞・銅賞の別をもって行う。

(3) 審査結果の発表

表彰式は行わない。審査結果の発表は、審査日の夕方17時頃に相模原吹奏楽連盟のホームページにて行う。なお、審査用紙及び点数表は、後日学校宛に郵送する。

(4) 相模原市民文化財団特別賞

各部門、最も優れた演奏を披露したチームには、相模原市民文化財団特別賞のトロフィーが贈呈される。

[7] 県大会への推薦

(1) 相模原支部からの推薦チーム数

- ・ 中学校の部 …… 4 チーム
- ・ 高等学校の部 …… 4 チーム

(2) 県大会の出場手続きについて

参加申込書については、相模原支部大会で使用したものを当連盟が取りまとめて神奈川県吹奏楽連盟の事務局に送るため、提出の必要はない。その他、参加費の払い込み等の手続きについては、代表校宛に後日郵送される県大会の参加要項をよく確認のうえ、期日までに各校で実施すること。

[8] 録音・撮影について

- (1) カメラ、録音機器、ビデオカメラ等の使用は禁止し、会場内への持ち込みも不可とする。演奏・審査及び大会進行の妨げになるため、ご協力願います。
- (2) 演奏の録音は主催者が行い、各団体にCDを進呈する。(審査用紙とともに送付予定) なお、業者によるビデオ撮影や販売は行わない。
- (3) 業者による写真撮影や販売は行わない。

[9] その他

(1) ミーティング等の禁止

会場周辺において、ミーティング等で集まることを一切禁止する。(通行人や他の施設利用者への配慮を) 集まる必要がないように、事前に十分な打合せをしておくこと。

(2) 大会後の送付物

表彰式を行わないため、次のものを大会終了後に各校へ郵送する。

- ① 審査用紙と点数表
- ② 演奏を録音したCD
- ③ 金賞・銀賞・銅賞いずれかのシール(賞状用)
- ④ (代表校のみ) 県大会の要項と推薦状

大会終了から1週間を経過しても届かない場合は、相模原吹奏楽連盟に問い合わせること。

(3) 大会運営に関する危機管理について

地震や火災、停電等の突発的な事態が生じた際に、主催者としてまず人命を第一に踏まえたうえで、次のような措置を取る場合がある。

- ① 演奏を中断させることがある。
- ② 演奏を中断した団体については、原則として当該部門の最後に再演奏を行う。
- ③ 審査員および役員の災害時における避難誘導に関しては、会館職員の指示に従う。

(4) 個人情報の取り扱いについて

参加申込書の取り扱いについて、個人情報保護法に基づき、要項作成や事務手続き、各出演団体との連絡等以外での使用は行わない。

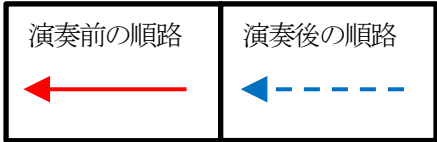
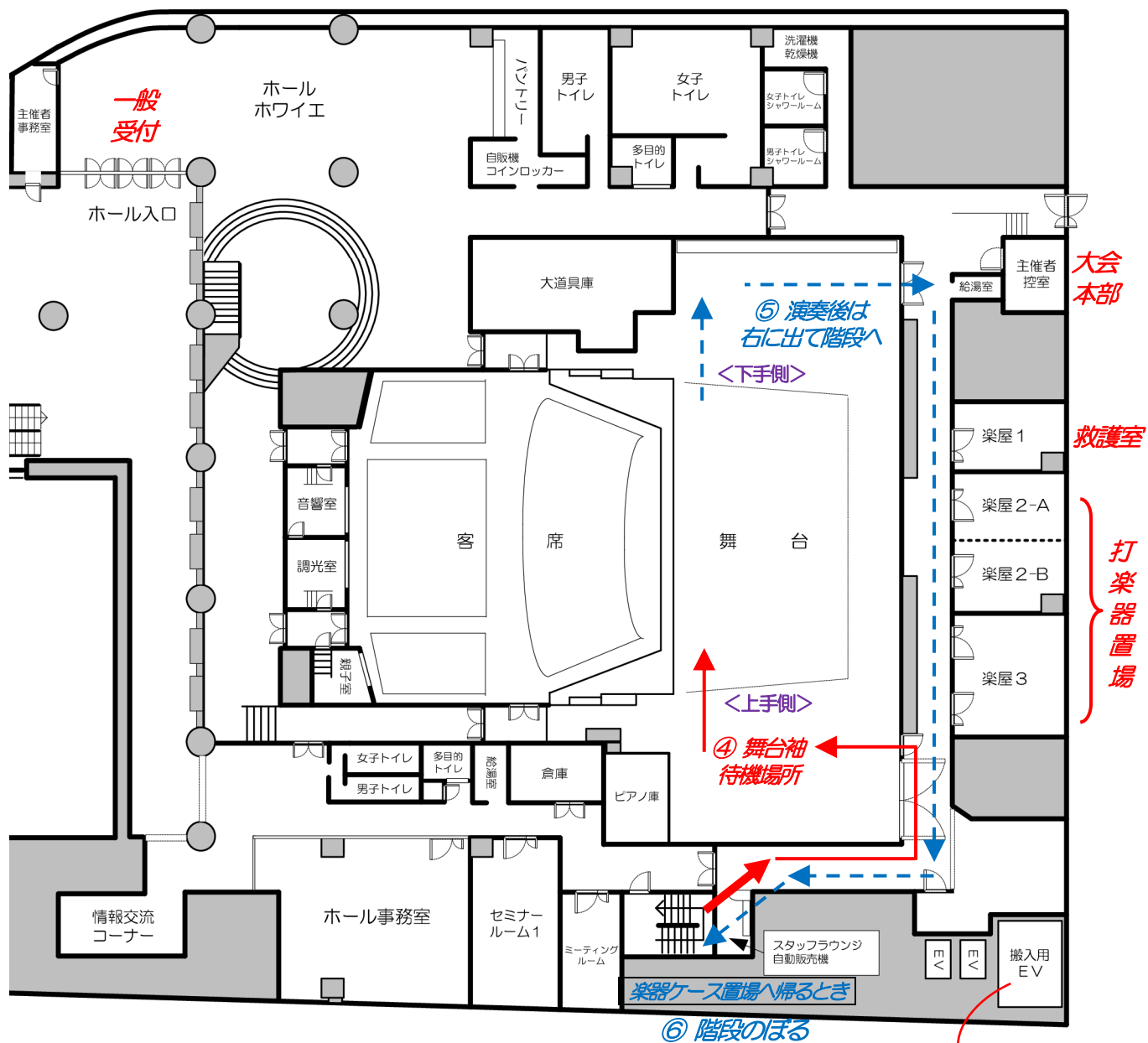
(5) 今大会の問合せ先

メールアドレス: sagamiharasuiren@gmail.com

(相模原吹奏楽連盟事務局 渡辺 基広)

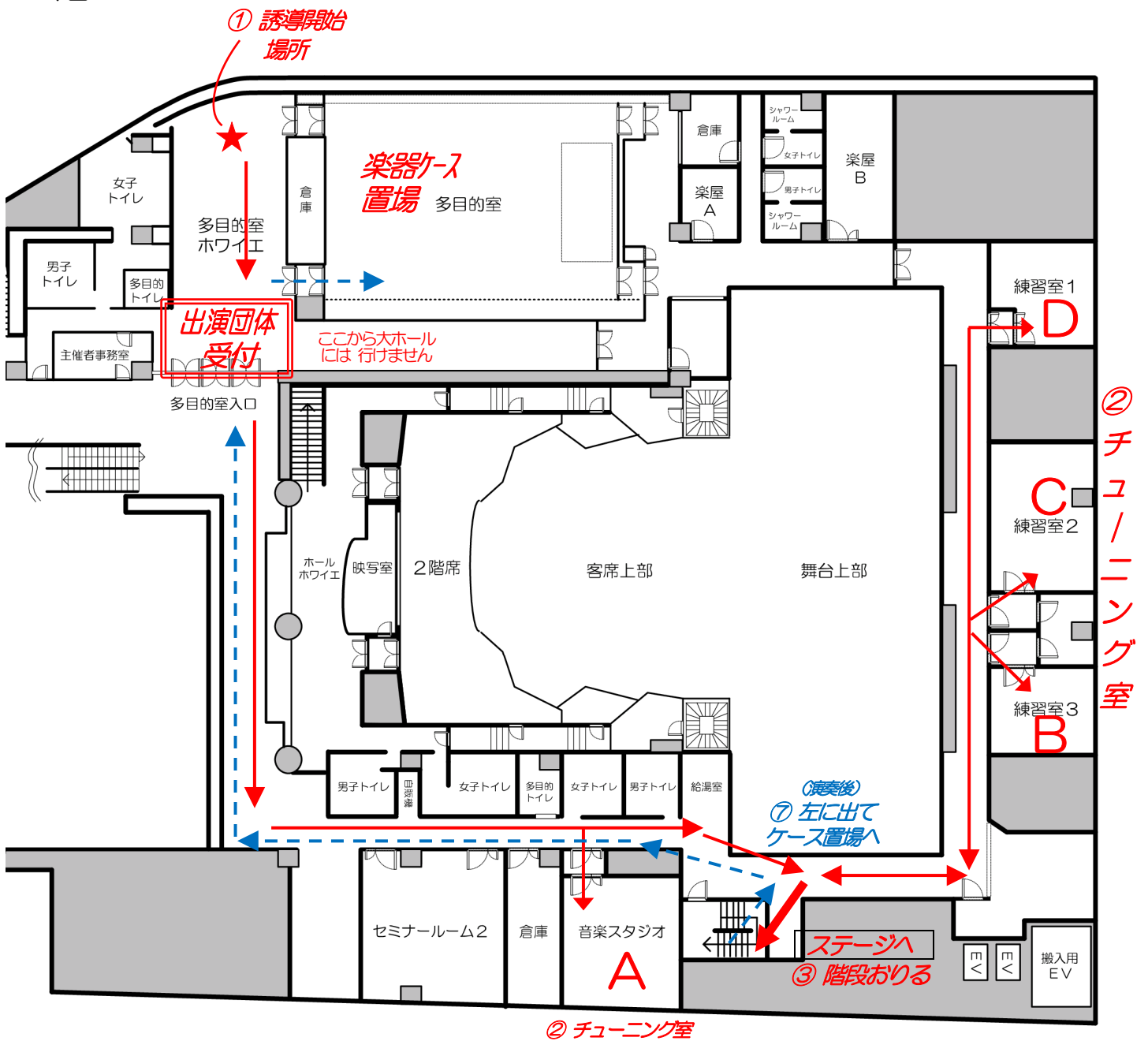
誘導経路図

7階



打楽器搬入用
エレベーター

8階



演奏前の順路	演奏後の順路

誘導経路まとめ

- ① (8階) 誘導開始場所を出発
 - ② (8階) チューニング室 (ABCDのいずれか)
 - ③ 階段おりる
 - ④ (7階) 舞台袖に入って待機
- <<ステージで演奏>>

- <<演奏終了後>>
- ⑤ (7階) 舞台袖から右に出て階段へ
 - ⑥ 階段のぼる
 - ⑦ (8階) 左に出て楽器ケース置場へ戻る